

高小だより

令和4年12月号

2学期の「振り返り」を！！

12月に入り、2022年もあと1か月となりました。2学期も残すところ約3週間になりました。児童は目標を立て、勉強や運動などの学校生活を一生懸命に努力しながら過ごしてきました。自分の2学期について振り返りをして、3学期につなげてほしいと思います。

引き続き、「コロナウイルス感染予防」を行いながら教育活動を行ってまいりますので、ご家庭や地域でもよろしくお願いたします。

<学びの拡大> 【校外学習】



11月18日に、1・2年生は「カブトガニ博物館・恐竜公園」、3年生は「中央選果場・葡萄浪漫館・中世夢が原」へ校外学習に行きました。晴天にも恵まれ、事前学習を積み重ねて当日を迎え、みんな笑顔で出発し、元気に帰ってきました。恐竜、カブトガニ、葡萄、お弁当のことなどを、生き生きと話してくれました。子どもたちの楽しい思い出の1ページになってくれたらと思います。



<学校・家庭・地域との連携>

【井原高校生によるデニム学習】



3年生が、11月9日に、井原高等学校の生徒の方々に先生を迎え「デニム学習」を行いました。総合的な学習として「井原デニム」の元である綿の種を学級園にまいて、水やりなどの世話を毎日行い、たくさんの「綿」を収穫することができました。「たぬきの糸車」で学習したことのある糸車を実際を使って、綿を糸にする体験をしました。どうやって綿から糸ができるのかを学び、この作業はとても難しいことを体験しました。また、自分たちで育てた綿を使って素敵なネームプレートを作りました。

子どもたちは、井原高校のお兄さんやお姉さんのお話や実演を、目をキラキラ輝かせて聞いていました。高校生による「井原デニムの学習」を通して、ふるさと井原の人や物などを愛する子どもたちへと育てて欲しいと願います。

【家庭科指導ボランティア】



5年生が、11月9日・16日に、家庭科の学習の「ミシンを使った裁縫の学習」で地域のボランティア講師の方々に、指導をしていただきました。これまで、手縫いで小物を作ったことはありましたが、本格的な裁縫は初めてで、しつけやミシン縫いなどについて、個別指導を受けながら学習を進めていきました。講師の方々の丁寧な指導のおかげで、どの子も真剣かつ、笑顔で学ぶことができました。ご指導をいただいた皆様、ありがとうございました。